



▲飯樋小北校舎内交流施設を利用して行っている「たんぼぼハウス」



4/2 学童・預かり保育「たんぼぼハウス」開設

村では、小学校及び幼稚園の放課後等の児童・園児に対する保育施設として、草野の「つくしんぼハウス」に続き、飯樋小学校北校舎内交流施設の一部を利用して「たんぼぼハウス」を開設しました。

これは、「つくしんぼハウス」への新年度の入所希望者を取りまとめたところ、定数を超える希望人数となり入所を断らざるを得ない状況になったことや、「子どもを預けて働きたい」という保護者の要望に応えて開設しました。

開所式に参加した保護者は、「仕事帰りなどに迎えに行くのに（家から）近くて助かる」、「安心して働ける」などと話していました。

また、同じ施設を利用して利用者と交流する機会もあり、一緒におやつを食べたり、近所のおいしいちゃん、おばあちゃんの肩たたきをしたり、楽しい時間を過ごしていました。

現在、同ハウスでは「りす組」（園児20人）と、「こあら組」（小学生16人）の子どもたちが、新しい施設で元気にのびのびと活動しています。

ご寄付ありがとうございます

菅野治さん（小宮）から、現役高校教師の宮本延春さん著の「オール1の落ちこぼれ、教師になる」、「未来のきみが待つ場所へ」先生ははじめられっ子だった」の2冊を、村内3つの小学校と中学校、教育委員会それぞれに（合計10冊）寄付していただきました。「作者の生きる力を届ける言葉に感動した」という菅野さんは、「飯館村の先生方と子どもたちぜひ読んでもらいたい」と話していました。

この本は、著者が小学校時代にはじめを受けたこと、中学1年生時にオール1の成績で学校嫌いになったことなどの実体験をもとに書かれています。

子育て相談室 - お気軽にご相談ください -

タバコ

「未成年者喫煙禁止法」という法律がありながら、タバコを吸う子どもたちがたくさんいます。残念ながら、飯館村の子どもたちも例外ではありません。

子どもの脳や体はニコチンに反応しやすいので、わずかの喫煙で中毒化します。法律上も健康上も好ましくない状態をつくります。

子どもの喫煙場所は、家の中、路上、地域の公園などがほとんどです。家にも用の灰皿が準備されていたり、発見されて注意されると開き直る中、高校生もいます。

タバコは子ども自身の手では手に入りにくくなっていますので、子どもの多くは親のタバコを吸っています。子どもにもタバコをやめさせるには親の禁煙も必要です。ちなみに現在、学校は敷地内全面禁煙です。ここでは誰もタバコを吸えません。

子どもがする悪いことを見逃してしまいますと、それが必ず親に跳ね返ってきます。子どもの非行の責任は親が負わねばなりません。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野 和夫